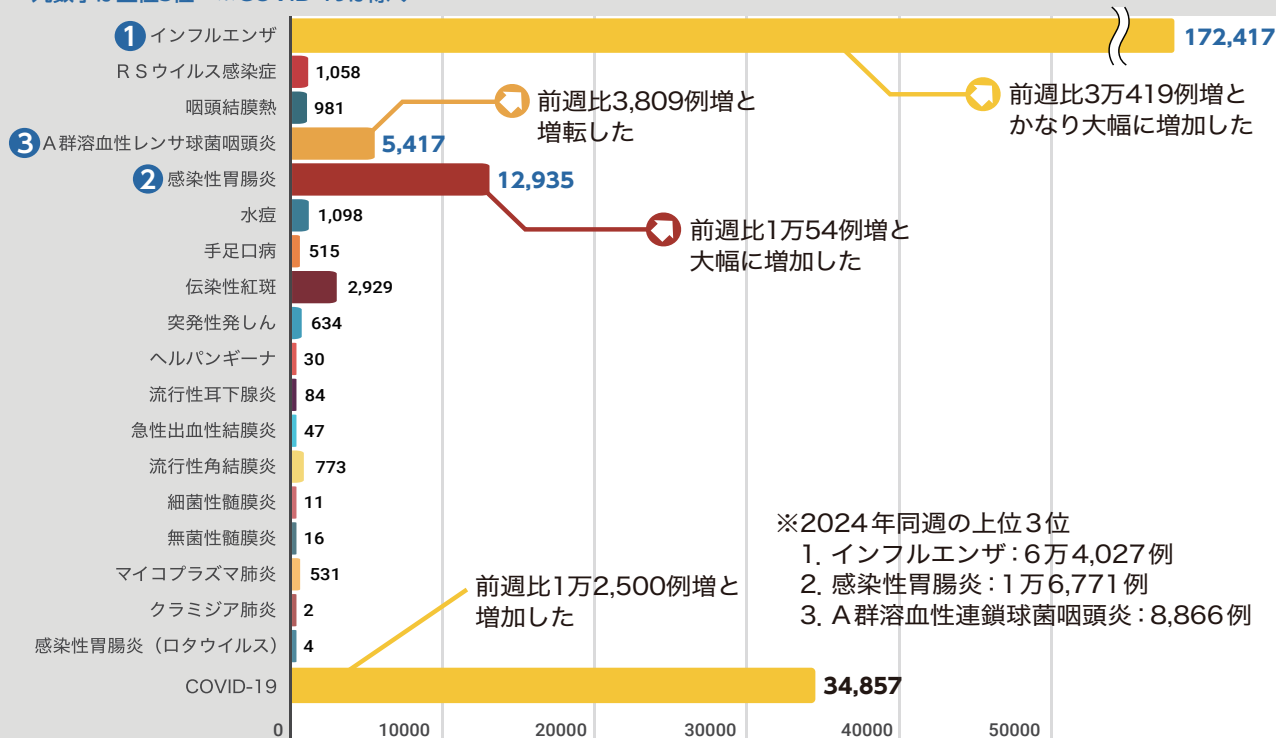




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフルピーク超え? コロナは年末から微増

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

1. 神奈川県: 9,569例
2. 東京都: 9,166例
3. 埼玉県: 9,131例

定点当たりの報告数(35.02)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 徳島県: 57.38 | 4. 愛媛県: 50.69 | 7. 静岡県: 47.73 | 10. 和歌山県: 43.71 |
| 2. 宮崎県: 57.24 | 5. 佐賀県: 50.67 | 8. 長崎県: 47.06 | 11. 山口県: 43.39 |
| 3. 高知県: 56.36 | 6. 熊本県: 49.62 | 9. 石川県: 46.52 | 12. 愛知県: 42.94 |

※その他、28府県が警報基準値(30.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,515例
2. 神奈川県: 955例
3. 大阪府: 771例

定点当たりの報告数(4.13)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 9.69 | 4. 宮崎県: 6.00 | 7. 富山県: 5.59 | 10. 群馬県: 5.08 |
| 2. 石川県: 6.97 | 5. 東京都: 5.76 | 8. 熊本県: 5.43 | 11. 三重県: 5.07 |
| 3. 愛媛県: 6.08 | 6. 福井県: 5.60 | 9. 千葉県: 5.39 | 12. 兵庫県: 5.02 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 茨城県: 428例
2. 東京都: 409例
3. 福岡県: 353例

定点当たりの報告数(1.73)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 5.71 | 4. 福岡県: 2.97 | 7. 佐賀県: 2.78 | 10. 岩手県: 2.54 |
| 2. 富山県: 3.59 | 5. 新潟県: 2.93 | 8. 山口県: 2.77 | 11. 長崎県: 2.48 |
| 3. 大分県: 2.97 | 6. 鳥取県: 2.84 | 9. 千葉県: 2.62 | 12. 北海道: 2.40 |

今週の感染症動向

インフルエンザは17万2,417例となり、昨年第52週(31万7,812例)のピークからは大幅に減少したものの、昨年同週(6万4,027例)の倍以上である。定点当たりの報告数は35.02、地域別に見ると40府県で警報レベルが続いている。感染性胃腸炎は1万例、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は約4,000例といずれも大幅に増加した。伝染性紅斑は前週から2,501例増加した。地域別の定点当たり報告数は青森県(3.54)、埼玉県(2.83)、千葉県(2.69)、東京都(2.43)、福島県(2.27)、栃木県(2.04)と関東から東北地方にかけて警報レベル(2.00)にある。COVID-19は前週から1万2,500例増加して3万4,857例と、昨年第52週(3万4,610例)の報告数を若干上回った。岩手県(12.28)をはじめ、宮城県(11.99)、徳島県(11.51)など10道県の定点当たり報告数が2桁台だ。年末年始休暇明けの診療が開始された第2週(1月6～12日)、各感染症の報告数は前週に比べて軒並み増加した。第3週以降の動向が注視される。